

条幅部自由参考

3月25日正午必着

明石春浦先生書



性淡情疎 (邵康節)

性質が淡白で、情懷がおおまかでのびのびしている。

雨宮春聲先生書



落日五湖遊 烟波處處愁 浮沈千古事 誰與問東流 (薛瑩)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

花開酒國春 (金農)

花は開く酒國の春

酒國は酒に酔って別天地にいるような境地をいう。

春眠不覺曉 處處聞啼鳥
夜來風雨聲 花落知多少 (孟浩然)

春眠 曉を覚えず 処々啼鳥を聞く
夜來風雨の聲 花落つること知る多少ぞ

春だ。つい朝寝坊していると、あちこちで小鳥がさえずる。そうだ、昨夜は吹き降りだったな。庭の花もうんと散ってしまったかしら。

題李疑幽居 (賈島)

李疑が幽居に題す 賈島

閑居少鄰竝 草徑入荒園
鳥宿池中樹 僧敲月下門
過橋分野色 移石動雲根
暫去還來此 幽期不負言

閑居 鄰並に 草徑 荒園に入る
鳥は宿る 池中の樹 僧は敲く 月下の門
橋を過ぎて 野色を分ち 石を移して 雲根を動かす
暫らく去りて 還た此に来る 幽期 言に負かず

春の谷あかるき雨の中にして鶯なけり 山のしづけさ (尾上柴舟)



菅井松雲先生書

堂上書生空白頭 臨風三嗅馨香泣 (杜甫)

半紙部規定課題A

3月25日正午必着

亂 春
流 塘
水

※作品には必ず落款を入れてください。

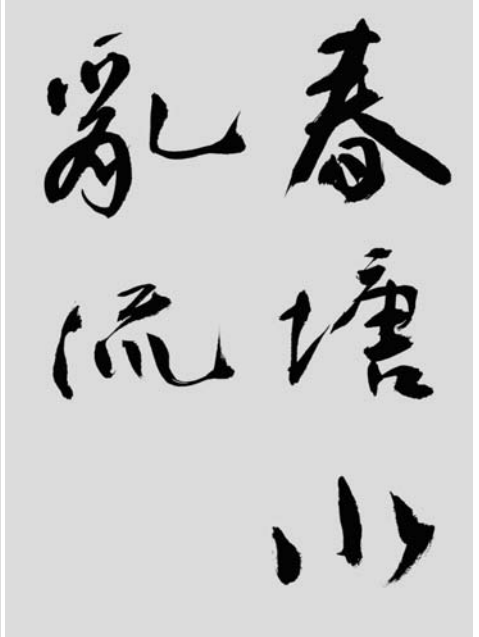
明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

3月25日正午必着

行書



隸書

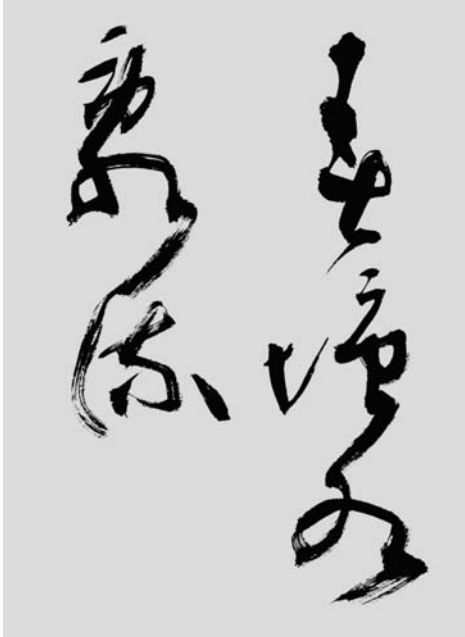


明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送王牧往吉州 李嘉祐

調中史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔上に調するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

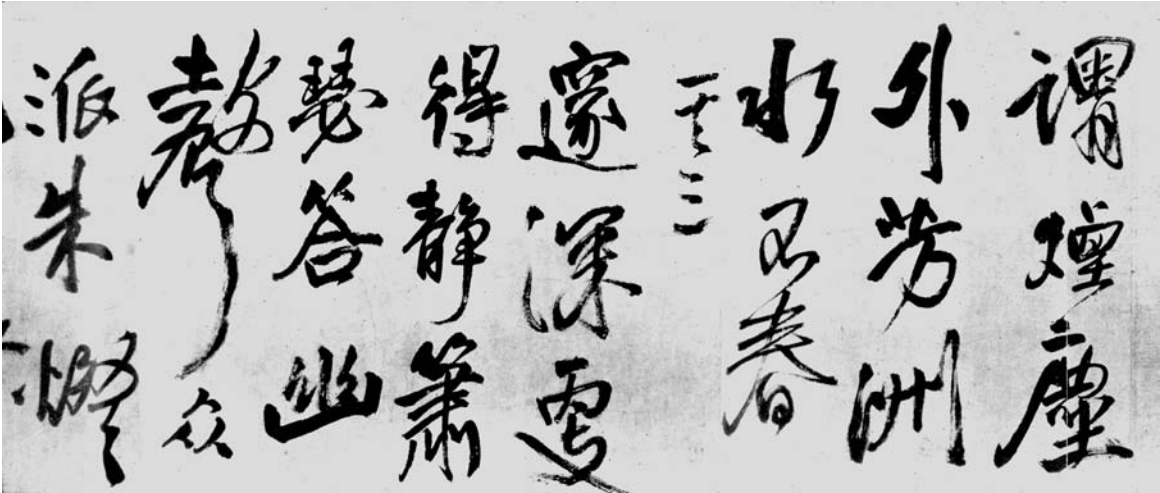
野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

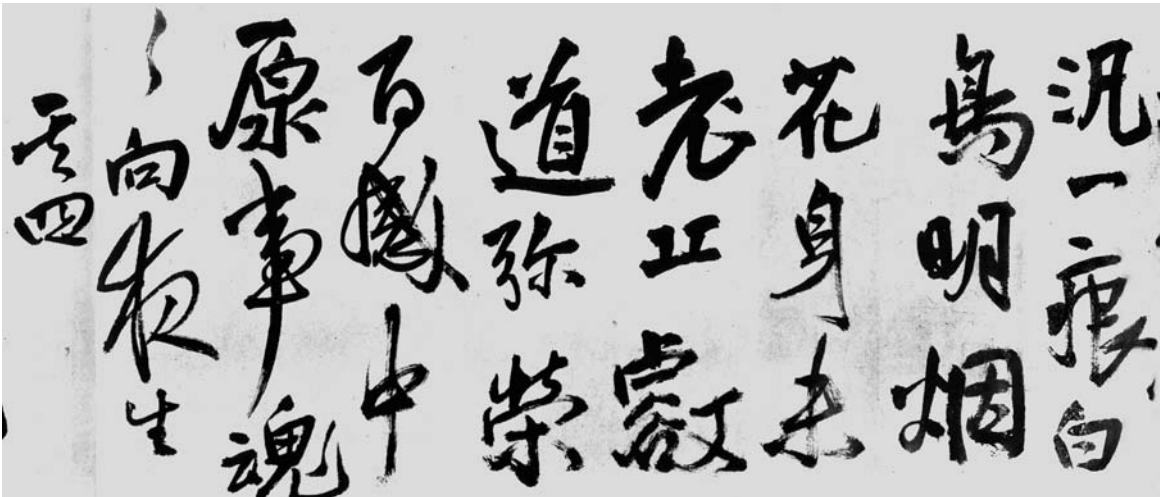
史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

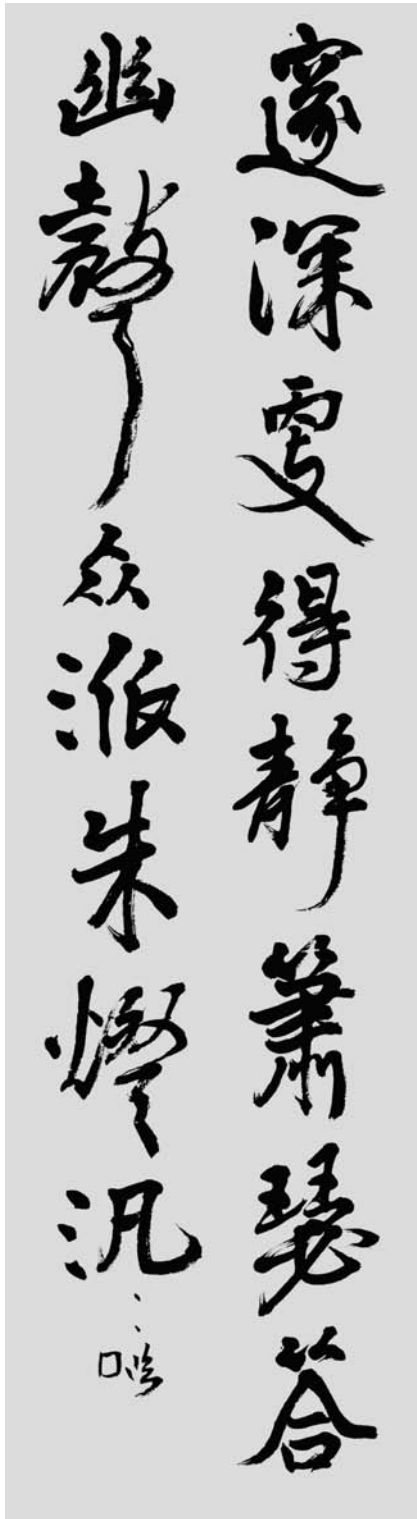
條幅部半紙部臨書課題



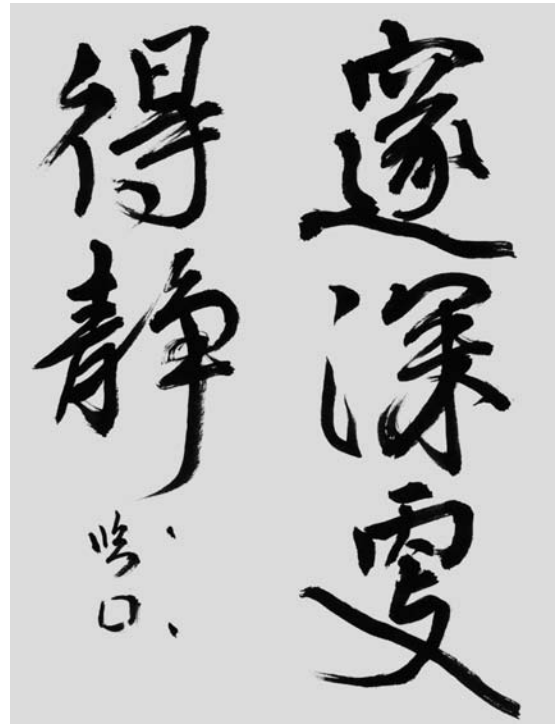
謂^ウ煙塵^ニ外^ニ。芳洲^ノ水^ハ不^レ春^ス。遠^ニ深^ニ更^ニ得^ル。靜^ク蕭^々瑟^々谷^ノ幽^ク。衆^ノ派^ノ朱^ノ燈^ノ。



汎^ハ一^ノ痕^ノ白^ク鳥^ノ明^ク烟^ノ花^ノ身^ハ未^レ老^ス。丘^ノ竈^ノ道^ノ彌^ニ榮^ス。百^ノ感^ノ中^ノ原^ノ事^ノ魂^ノ向^テ夜^ニ生^ス。



邃深更得静。箫瑟答。幽静。众派朱灯汎。



邃深更得静。

明末清初 王鐸・行書詩卷

王鐸は明の萬曆二〇年（一五九二）河南省孟津に生まれる。明朝末期の天啓二年（一六三二）に進士となり、明が滅亡した後は清朝に仕え、「明史」編纂の副総裁などをつとめた。順治九年（一六五二）礼部尚書となったが、その年の三月病のために郷里で没した。字は覺斯（または覺之とも書いた）。号は高樵、癡庵、五岳道人など数多い。明朝の遺臣でありながら清朝に降ったことによって節義に欠ける者として白眼視されたが、彼のような唯美の世界に耽溺した人間としては、そうしたことにこだわらず自由な行動をとったのではないかといわれている。

明末から清初にかけては政治的にも社会的または民族的にも混沌とした時代で、書壇においても革新的な傾向におもむきつつある時期であった。そして、そうした中から董其昌や王鐸らを中核として伝統的な書道からはなれ、新しい理念に基づく書の美しさを求めようとする風潮が生まれた。

王鐸は詩文書画をよくしたが、なかでも書は特に名高く、二王を中心に晋唐の古法帖の臨書に終生心血を注ぎながら、彼独自の自由闊達な連綿行草の世界を作りあげていった。この行書詩卷は所々に草書も混じっているが、あくまでも逞しい骨格に、鋒先の先まで力がこもり、少しよどみもない奔放な運筆は見事というほかはない。（春濤）



雨宮春聲先生書

ひか わか ば
光 る 若 葉

中学一年



菅井松雲先生書

か ちょうふう げつ
花 鳥 風 月

中学二三年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



けつ
結

そく
束

小学五年

藤井良泰先生書



ちょう
調

わ
和

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

3月25日正午必着



さ

ゆう

小学三年

細谷春誠先生書



こう

じつ

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

き ん 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

さん がつ 三月 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

典をひいて調べよう
むずかしい言葉は辞

小学五年

観測のために打ち上
げられる人工衛星

小学六年

校庭のすみに植えら
れた卒業の記念樹

中学

春の便りを乗せて静
かに流れる雪どけ水

一般(級位)

鶯のなげまゝにまだふる雪に
杉の葉しろしあふさかの山

一般(段位)

うぐいす
鶯のなげまゝにまだふる雪に杉の葉しろしあふさかの山(後鳥羽院)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

く	み
ん	
ひ	な
な	で
ま	た
つ	の
り	し

幼年

う	つ
	ば
あ	め
お	か
い	と
空	び
	か

小学一年

る	た
	に
ゆ	間
き	に
ど	な
け	が
水	れ

小学二年

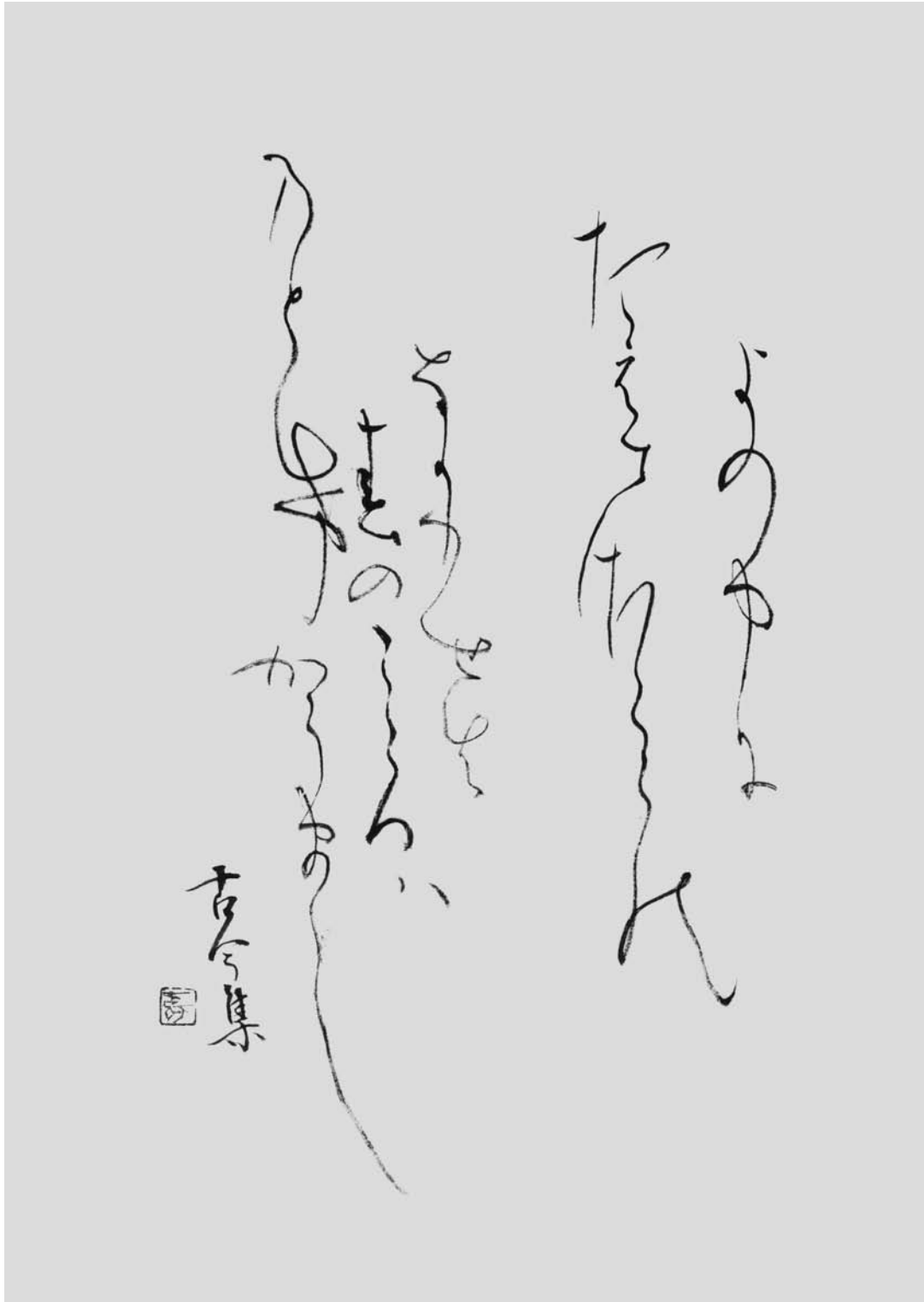
バ	四
ー	つ
を	葉
見	の
つ	ク
け	ロ
た	ー

小学三年

と	雨
な	の
っ	し
て	ず
広	く
が	が
っ	波
た	文

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



よの中なかに たえてさくらなの なかりせば 春はるのころは のどけからまし
尔 佐久能 奈可利者 八乃希
 (古今和歌集・在原業平ありわらのなりひら)

岩本景楓先生書